

聖母の被昇天

第一朗読 黙示録 11・19a、12・1 - 6、10ab

第二朗読 一コリント 15・20 - 27a

福音朗読 ルカ 1・39 - 56

2021. 8. 15

カトリック高円寺教会 9:00 ミサ

京都司教区司祭 国本静三神父

まことにおめでとうございます。今日はマリアの被昇天の祭日です。

ルカの福音書のエリサベトの言葉、「あなたは女の中で祝福された方です」、これは「アヴェ・マリアの祈り」の中の前半部分の重要な部分ですね。そして、もう一つ続くのはマリアのお告げの場面のマリアの言葉です。そして、次に続く「マニフィカト」と言われる祈り。この「アヴェ・マリア」と「マニフィカト」は、教会の歴史の中で、そして教会の典礼の歌、聖歌の中で最も古いテキストとしてずっと伝わってきたわけであります。特に、教会の祈りでは、「マニフィカト」のこの部分は夜の祈り（晩の祈りと言いますけれど、昔はヴェスペル（Vesper）とラテン語で言った祈り）の中で必ず最後に唱えられます。美しい、とても良い祈りです。わたしは大好きです。そして、非常に不思議で、わたしがカッカカッカして頭が爆発しそうになったときにも、これを唱えますとスッとする。ストレスの解消とでも言いましょうか。

マリアの被昇天、これは説明するには最も難しいものの一つです。三位一体も難しいですけれども。で、一つ『カトリック教会のカテキズム』という、原典はラテン語でありますけれど日本語にも訳された大きな本があります。そこに簡略に説明してある。これ以上もう言いようがない。読み上げますと、

「聖マリアは地上の生涯を終えると、肉体と霊魂ともども天の栄光に引き上げられました。そこで御子の復活、栄光に与り、神秘体の全肢体の復活を先取りしています」

と。要するに、わたしたち人類の真っ先に、トップに、復活の栄光に与られた方である、と。もちろん、キリストの復活はありますけれど、主イエス・キリストは三位一体の中の神の子です。神です。全能なる神。人類としては、聖母が最初。わたしたちもこれに続くということです。

いつ来るんでしょうか。この世の終わり。これは本当に難しい問題ですけれ

ども、この銀河系が終わったときのことを言うのか、地球の滅びを言うのか、わたしは断言できません。おそらくこの地球が滅びるとき、この自然がなくなってしまうとき、その時が世の終わりを迎えるのかもしれません。でも、考古学、地球学、地質学いろんな学問によりますと、わたしたちはこれから千年生きたとしてもそれに与えることはできないわけですね。ものすごく後の話です。その時にわたしたちはもう天の国にいるのかもしれません。煉獄か、あるいはもうすでに天国に入っているのかもしれません。しかし、その時にわたしたちは復活する、と言われている。それはもうとても数えられる数字ではない未来のことです。

この聖母の被昇天の教義は、わたしたちの知恵ではどうにも捉えられないものです。逆立ちしても無理。言えるのは、最後の救いは、わたしたちは信仰の中によってのみ理解可能です。電車に乗って隣の人に「聖母マリアは今日被昇天なされた日ですよ」と言ったって、皆さん何のことか分からない。知らない宗教のことでも分かる話はあるんですけども、多くの場合、わたしたちのキリスト教の教義はそういう形でお話ししても分からないことが大変多い。しかし、それをわたしたちは信仰で受け止めているということは、とても立派なことです。そして、それは誇りにしなくてはならないと思います。

そして、そうした立派なカテキズム（教理）の理論書があるわけですから、これもわたしたちは余暇のあるときには研究しなくてはならない。それで、わたしがお勧めしたいのは、わたしの愛読書である『カトリック教会のカテキズム要約』というのがあります。新書版くらいで、美しい名画も入っている。祈りの文も入っている。これをお持ちでなければ、持っていた方がいいです。赤い表紙で非常に可愛いです。電車の中で広げてもそうおかしく見えない。持っている方は家で広げて、このコロナの余暇のあるうちによく読むといいですね。

今、わたくしたちの世界は、この聖母マリアに本当にお祈りする、願う。挙げたら一時間かかってもこの世界の問題の項目を言うことができないぐらい大きな災害、世界の災害ですね、日本だけではないです、そして病気の問題、社会情勢の問題、平和を阻む問題、政治的問題、もういろいろ、言っていたらきりがないので止めまして、簡単なたとえですけど、わたしたちがいくらたくさんお金を持っていたとしても、買い切れないぐらいと言ったら莫大なお金がかかってしまう。しかし、祈りは非常に不思議です。全てを含む、全てを網羅して、そしてわたしたちの願いが届く。

今日は聖母の祭日です。聖母のとりなしによって、聖母を通して、わたしたちの願いが届くよう、ちょっと暇なときに願い事を頭の中で挙げてみてください。

い。「まとめて」と言えばいいですね。わたしたちのカトリック信徒としての任務でもありますけれど、どうか真剣に、病気、災害いろいろ、社会問題、国の問題すべて、大きな恵みで満たされ、是正されていくように祈りましょう。これが、わたしたちの今日行える小さくて大変大きい一つの務めだと思います。この深い祈りを捧げて、ミサを続けましょう。